



ほっしょうじ通り夜景

「編集後記」

小さな一歩から始まる大きなうねり。
そして、つながり。

平成21年より本格的に動き出した、[米子市中心市街地活性化基本計画(よなご・かえるプロジェクト)]。

その最大の特色は、まちなかを劇的に変えるような大きな事業はないものの、比較的規模の小さい事業が数多く計画され、それらのひとつひとつが連鎖的にスピード感を持って実施につながったこと。

そして、わずか人口15万人の地方都市にも関わらず、計画の実施に向けて多士済々のプレーヤーが参画したこと。

「米子発！小規模連鎖型のまちづくり」は、言い替えれば、「米子のまちづくりトルネード」といえるほど力を増し、人を巻き込み、大きなうねりとなって米子のまちを包んできました。

一方で、ここ数年間の取り組みを通じて、中心市街地の活性化という本来の目標以外に、水面下では様々な「つながり」が生まれました。2年前には、希望であり理想であったものの、想像さえできなかった[中山間地と中心市街地]、[生産者と消費者]のつながり、[市民と行政]、[人と人]、[人と地域]、[人と企業]とのつながりが広がり、このつながりがこれからどのように発展し、米子のまちなかに根付いていくのか楽しみなところです。

中心市街地の活性化から地域の振興へ！

残された計画期間は3年をきりました。今後、私達は、米子市中心市街地活性化を通じて、鳥取県西部、大山中海圏域といった、大きなエリアとしての地域振興を目指します。



中心市街地活性化基本計画区域内の5つのゾーニングと軸の構成

米子市中心市街地活性化基本計画の概要

まちなかの区域

この計画では、交通拠点であるJR米子駅周辺、古くから形成されている商店街、都市的住宅の立地が進む錦町周辺、歴史や文化・自然資源が残る寺町周辺、米子城跡、旧加茂川を含んだ約300ヘクタールの区域を「中心市街地まちなか」に設定し、「人が集まり、歩いて楽しむ、元気に暮らせる、中心市街地」を基本コンセプトに、継続事業を含め65事業を実施することで、中心市街地の活性化を図っていくとしています。

■計画区域 約300ha ■計画期間 平成20年11月～平成26年3月

米子市の概要

- (平成23年5月1日現在)
- 人口/150,021人 (男 71,208人 女 78,813人)
- 世帯数/63,420世帯
- 面積/132.21km²



[大山中海圏域]の50万人をターゲットに！

米子市、境港市、南部町、伯耆町、日吉津村、大山町、日野町、江府町、日南町、松江市、安来市、東出雲町

よなごのまちづくり情報発信

よなご・かえる通信

よなご・かえるプロジェクト増殖中！

3

2011 JUN



かえる、はねる、はなしてつながる

[特集]

新生! ほっしょうじ通り
公園化する商店街

発行/米子市中心市街地活性化協議会 〒683-0823 鳥取県米子市加茂町2-204 (米子商工会議所内)
TEL.0859-22-5131 FAX.0859-22-1897 E-Mail. tmgt@yonago-chukatsu.jp

編集・撮影/よなご・かえるプロジェクトチーム (田中国彦・菅野雄一・大森圭)



米子市中心市街地の情報発信とまちなかのライフスタイル提案 情報発信中!
よなご・かえる通信WEB
<http://www.yonago-kaeru.jp>

まちなか・まちづくり 年表

米子市中心市街地活性化
基本計画の流れ



今井書店錦町店



ユニサン後藤駅前店



サーパス米子駅前



にしくらの家



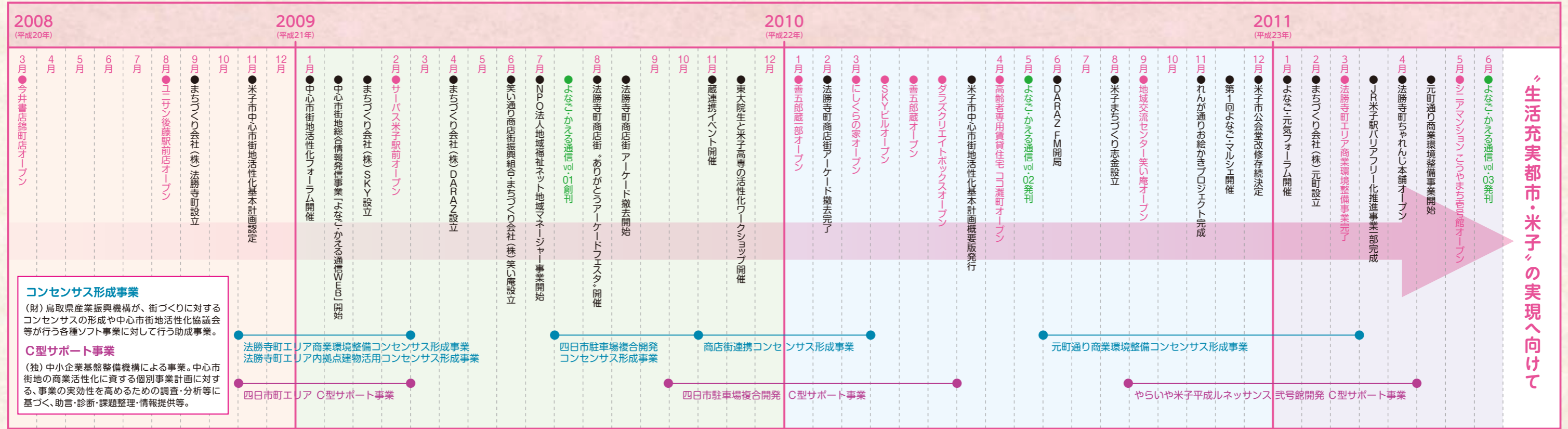
SKYビル



善五郎蔵



ガラスクリエイトボックス



生活充実都市・米子の実現へ向けて



ココ瀬町



笑い庵



ほっしょうじ通り



シニアマンション

「米子市中心市街地活性化基本計画」いよいよ折り返し地点

鳥取県米子市は、古くから山陰を代表する商都として栄え、鳥取県西部圏域の交通、商業、文化の拠点都市として発展してきました。

しかしながら、近年、全国の地方都市でみられるように、中心市街地の歩行者通行量の減少や商業販売額の減少、居住人口の減少等により、本来、中心市街地が持つべき機能や特性が失われつつあります。

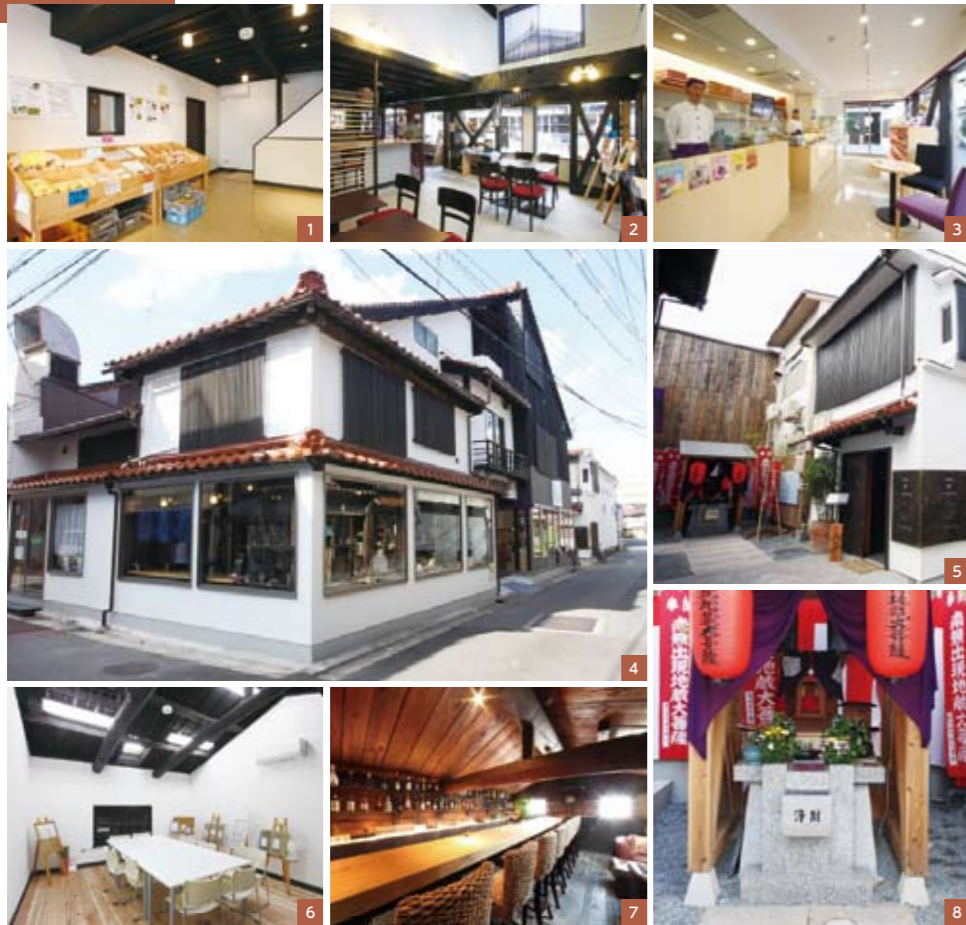
「人が集まり、歩いて楽しみ、元気に暮らせる中心市街地」を目指して進めている、よなご・かえるプロジェクト[米子市中心市街地活性化基本計画]。米子のまちなか[中心市街地]活性化の最後のチャンスと捉え、平成20年11月より進めてきた基本計画も、既に2年半が経過し、計画期間の折り返し地点にきました。

「米子市中心市街地活性化基本計画」は、平成20年11月に内閣総理大臣の認定を受けてから、基本計画に盛り込まれた65の事業を、行政や民間事業者と一体になって取り組み、かつ、スピーディな対応によって数多くの事業が動き出し、事業の数、並びに内容、進捗状況は、全国で認定された中心市街地活性化基本計画約104箇所(平成23年3月末現在)の中でも、スピード感を持った動きとして注目をあびているところです。

まちなかの
新たな拠点
施設誕生！

地域交流センター **笑い庵**

築150年の古民家が、ステキに生まれ変わって、どこか懐かしく、落ち着いた佇まいが魅力の笑い庵。物販・飲食・カルチャースペース・インキュベーションスペースで構成された複合施設。



1・2 笑い庵カフェ&マルシェ 3 丸京庵・笑い庵店 4 笑い庵 吉番館 5 笑い庵 式番館 6 暮らしカルチャースペース 7 BAR chou chou 8 出現地蔵

DATA

吉番館

- 1F** **笑い庵カフェ&マルシェ**
 ☎ 10:00~17:00(月~金)
 ※土日は、週替わりカフェ
 ☎ 0859-22-2703
- リサイクル&ハンドメイド
ここにこうず**
 ☎ 10:00~17:00(月~金)
 ※土日は、週替わりショップ
 ☎ 0859-22-2703
- 丸京庵・笑い庵店【どら焼き】**
 ☎ 10:00~18:00
 休 火・土・日曜日
 ☎ 0859-32-5165

- 2F** **暮らしカルチャースペース**
 【催事や会議などの貸しスペース】
 ☎ 使用料：600円/時間～
 ☎ 0859-21-2108 (株)笑い庵

式番館

- 1F** **しゃぶ玄【カフェ&しゃぶしゃぶ】**
 ☎ 17:00~22:00
 休 日曜日
 ☎ 0859-32-7688
- 2F** **BAR chou chou【バー】**
 ☎ 19:00~25:00
 休 日曜日
 ☎ 0859-32-7688



会社名 株式会社笑い庵
所在地 鳥取県米子市西倉吉町57
代表取締役 住田済三郎
設立 平成22年1月15日
面積 敷地:214㎡ 延床:402㎡

問い合わせ (株)笑い庵
 TEL.0859-21-2108
 HP <http://waraian.jp>
 E-mail office@waraian.jp



株式会社 笑い庵
代表取締役
住田済三郎さん

代表にきく。

この場所は、商店街や米子一の繁華街である朝日町の入口にもあたり、続けて行きたいと思っただけで、先を思いあぐねてきた。そうしたら、「このまま、笑い庵を放っておいたらいいけん！笑い庵は、米子のまちづくり活動の原点だけん！」と、昔からの笑い庵の仲間や新しく加わった地域の若者、まちづくりNPOが集まり、「新しい笑い庵を創ろう！」と話が動きだした。

新しい笑い庵が、人と人、まちなかと地域をつなぐ場所になってくれればうれしい。大勢の人が集まり、まちづくりを語る場になってほしい。私の思いを周りの皆さんが受け継いでい。そして、まちづくりの後継者を育て、スムーズな世代交代を促すのが私達の役目。

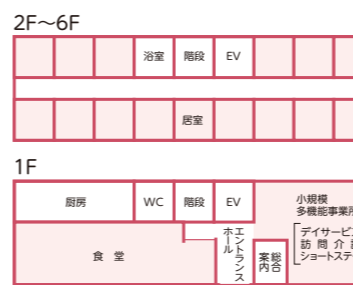
DATA

こうやまち号館

- 1F** **小規模多機能事業所**
 ○デイサービス
 ○訪問介護
 ○ショートステイ
食堂
- 2F**
6F **居室**
 Aタイプ 22.5㎡(約13.5帖) 54部屋
 Bタイプ 25.0㎡(約15.1帖) 20部屋
- 〈各個室設備〉
 ○バリアフリー仕様
 ○洋室トイレ(ウォッシュレット)
 ○洗面化粧台
 ○ミニキッチン(IHヒーター別)
 ○収納
 ○緊急連絡装置(ナースコール)
 ○照明器具
 ○エアコン
 ○中海テレビ配線有
 ※カーテン・ベッド・テーブル・椅子は含まれません。

入居者募集中

入居お問合せ専用 フリーダイヤル
0120-4165-23

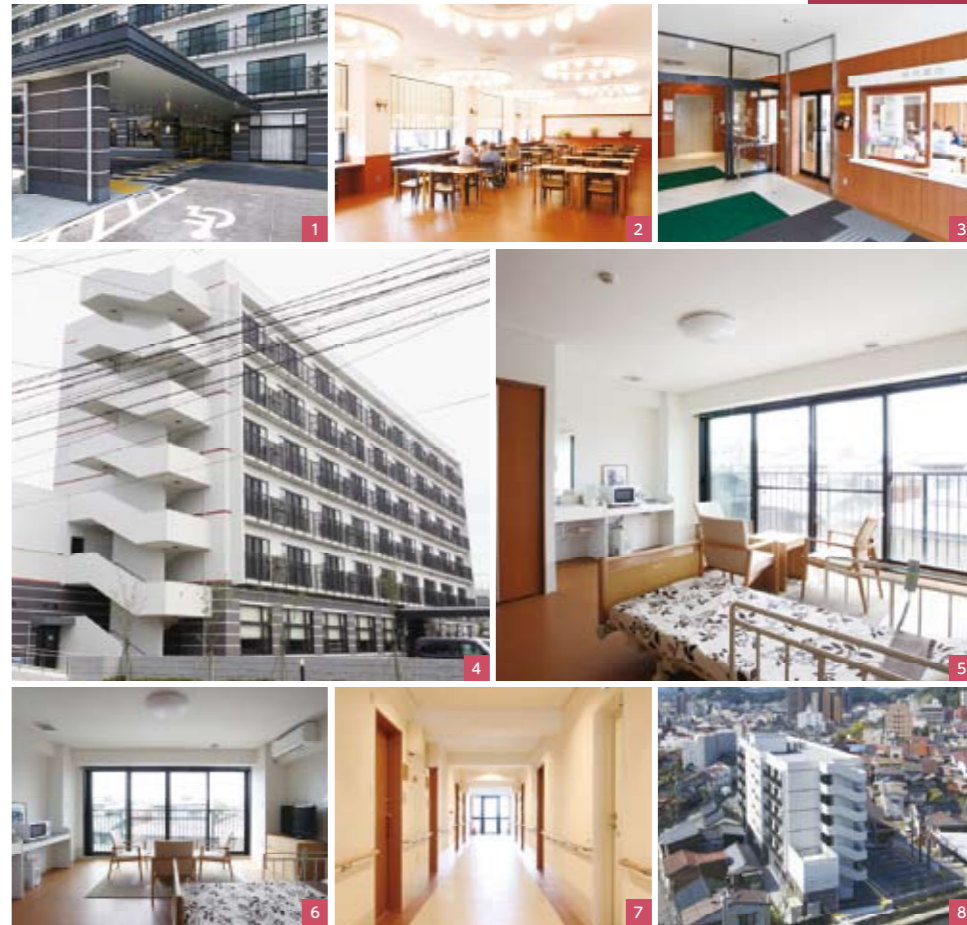


会社名 特別目的会社 まちなか米子号館
所在地 鳥取県米子市紺屋町104-2
代表取締役 福井龍介
設立 平成21年7月17日
面積 敷地:1,872㎡ 延床:3,232㎡

問い合わせ 一般社団法人
 ふるさと再生機構
 TEL 0859-33-1105
 FAX 0859-32-6396

シニアマンション **こうやまち号館**

トータルな介護ケア、バランスのとれた美味しい食事、充実した設備とサービスでサポートが受けられる、まちなかの適合高齢者専用賃貸住宅。24時間スタッフ常駐で安心です。



1 エントランス 2 明るく広々とした食堂 3 総合案内 4 外観 5-6 開放的な居室 7 あたたかみのある通路 8 紺屋町周辺



特別目的会社 まちなか米子号館
代表取締役
福井龍介さん

「まちなか居住再生」と「高齢者専用賃貸住宅」の組合せに大きな可能性を感じ、平成21年春に事業計画をスタートしました。

中心市街地は住時より少し淋しくなっていますが、住む場所としては、市役所、図書館、病院などに近く、歩いて暮らせる環境が整っていて、特に高齢者にとっては住みやすい場所だと思えたらからです。

特別目的会社を設立し、不動産を流動化させる事業スキームは、短期間で集中してできましたが、実際の各論になると地方では実例が殆ど無く、壁に当たり心が折れかけたことも何度もありました。しかしながらオープンにたどり着けたのは多くの方との出会いとご支援の賜物です。

次は、同じ町内で式号館に向かいます。住む人が増えれば街は少しずつですが確実に変わっていく事を確信しています。

一決心は九分の成就。

代表にきく。

【特集】

新生! ほっしょうじ通り 公園化する商店街

1年半前、老朽化したアーケードを撤去した法勝寺町商店街が、 今春、ほっしょうじ通りとして生まれ変わりました。

「昔ながらの元気なまち・歩いてどこか懐かしいまち法勝寺町」をコンセプトに進めてきた環境整備のキーワードは、商店街活性化ではなく「商店街の公園化」。アーケード撤去によってもたらされた陽射しを武器に、花や緑をふんだんに活用し、多数のモニュメントやLED照明も備え、楽しみながら安心安全で元気なまちです。
また、3月には、通りの空店舗が、米子市のチャレンジショップ「ちゃれんじ本舗」となり、3店舗の入店があった他、通りの空店舗の活用や新規出店等々、明るいさざしも見えてきました。法勝寺町商店街は、空店舗率が中心市街地で最も多い55%を超えていましたが、今後は、**明るくて陽のあたる公園通り、花と緑あふれる街**を目指します。

ほっしょうじ通りとして生まれ変わりました!

ほっしょうじまち七福神



【整備概要】

路面整備は、法勝寺町商業環境整備事業の2次事業として進め、整備された路面下には、下水道や上水道、ガス管、NTT管などのインフラも整備されています。

- 全長 約125m
 - 幅員 約5.6m
 - 透水性コンクリートブロック舗装
 - 芝生舗装(シェードII)
 - 街路灯(LED)照明 3基
 - 来待石のフットライト 10基
 - 七福神造形物(来待石) 7体
 - 木製ベンチ 6脚
 - 水飲場(来待石ビリケン像) 1基
 - 中木(5m程度) 2本
 - 中木(3m程度) 18本
- 10種類のフットライト(LED)が足を照らします。

七福神の暮らすまち?



① いっちゃん
金運の神

財運
勝負運
キャンブル運
大富豪



② はっちゃん
延命長寿の神

長寿の神
健康運
無限の健康
復活と再生



③ なみちゃん
子宝の神

子宝天授
寿安産
子孫繁栄の神



④ ゆうちちゃん
商売繁盛の神

家業繁栄
事業運
仕事運
順風満帆



⑤ みっちゃん
良妻賢母の神

美の神
美容・品格
人気運
明朗快活



⑥ れいちゃん
良縁結びの神

縁結びの神
交際円満
恋愛成就
人間関係円満



⑦ やっちゃん
交通安全の神

家内安全
道中安全
無事故無違反
交通の守り神



ビリケン像
開運 幸福の神

開運招き水
日本一おいしい水道水
米子の水

ほっしょうじまち七福神

江戸時代より、商都米子を支えてきた法勝寺町。実は、その法勝寺町には、旧来、幾多の幸福開運をもたらした、実在の神々達が暮らしておりました。新しくなったほっしょうじ通りでは、その神々を「ほっしょうじまち七福神」と名付け、これから一つと、ほっしょうじ通りの発展と安全を見守って下さい。

そして、なぜか七福神に混じっているのが「ビリケン像」。御利益のあると言われているビリケンさんの足元は、なんと、「日本一おいしい水道水」と評価された、米子の水が飲める水飲み場【開運招き水】になっています。



FROM ほっしょうじ通り



平野美智子さん
株式会社 法勝寺町
取締役

楽しみながらまちづくり

“まち”は、そこに居る人達の思いが表れたもの。その言葉どおりのほっしょうじ通りが完成しました。歩いてどこか懐かしいまち法勝寺町。木々の緑や通り抜ける風が心地よく、人がやさしいまち。
明るい太陽に誘われて出てこれ

た人々が「こんにちは」とあいさつを交わしたり、「水やりごろうさま」と声をかけてくださったり、見知らぬ人達が笑顔ですれ違っていくことができます。一年半の工事では、ほんとうに沢山の方にお世話になりました。猛暑そして厳冬の中での作業は大変でした。心より感謝申し上げます。

路面整備が終わり、これから新たなまちづくりがスタートします。閉まっているシャッターを開け、店を出される方、お買いものに来られるお客様にも、また、住んでいる人達にも楽しいまちになりますように。

これからも皆さんと共に、楽しみながらまちづくりをしていきたいと思っています。



秦 登志博さん
有限会社 シー・エス
代表取締役

ほっしょうじ通りの公園化にあたって

法勝寺町は、まちなかの価値観をつくり直す期待を担っています。「売る場所」「買う場所」を主体としたまちは、「歩く場所」「立ち止まる場所」、遊歩道や広場がほとんどなく、心の安らぐところがありません。近年では、モノを象

心は満たされないことに多くの人が気づき、生活する場所としての価値を模索しています。

果たして商店街付近一帯のまちなかは住みやすいだろうか。物質的に豊かさを求めるのではなく、住民一人一人が心の中に目標を持てるようなまちなか空間を問いました。無変化的な天井空間から四季や自然を感じる生存安定空間へ、自然と人間、人間同士のコミュニケーション活動を基本とした協働作業のまちづくりが必要不可欠と感じました。造ったら終わりではなく住民自らの手で変貌させ、景観は毎年進化するという空間づくりが生存安定空間として浸透します。

店の軒並みがまちのイメージを象

徴する商店街ですが、都市空間として裏路地や空地などまち全域が見渡せ、いつでもどこでものコミュニティ空間は、将来性あるまち景観となると信じています。付近一帯がまちなか公園です。

さらに、心の安らぐ空間は、コミュニティと同時に夢を語る場として、中心市街地の新たな価値観による豊かさを感じるまちの一翼を担うと考えます。

商業のみならず家、オフィスが混在するまちなかがコミュニティを主力文化として成長すれば、生涯暮らし続けるための場所としてより良い環境が育つと思います。

元町サンロードも進化中!

平成23年2月に、まちづくり会社(株)元町を設立!



遠藤至弘さん
元町通り商店街
振興組合 理事長
株式会社元町
代表取締役

昔から「サンロード」と親しまれております元町通り商店街のアーケード撤去が始まりました。法勝寺町商店街に続く、今回のアーケード撤去によって、太陽の光がサンサンとふりそそぐ、ま

さしく「新生サンロード」にふさわしいまちに生まれ変わろうとしています。そして翌年には、路面の整備を行い、そこを散歩する人々、そこに住む人々、そこで商売する人々が【寄ってみたい、歩いてみたい、住んでみたい】と思うような、明るい笑顔でまちを楽しんでいただく空間になるように、商売している人だけでなく、住んでいる方々と一緒になってまちづくりをしてまいります。
新しいサンロードにご期待下さい。



ほっしょうじ通りに連続する「元町通り商店街(元町サンロード)」。こちら、商店街の中間に位置するライブハウスや元町パティオを拠点に、ほっしょうじ通りや善五郎蔵、ダラズクリエイトボックス、よりみち通りなどの間に回遊性を持たず他、今春、設立されたまちづくり会社(株)元町が、昼から夜にかけて、地域の皆さんが気軽に寄って食事ができる「元町コミュニティ食堂」を開業し、にぎわい創出を図ります。

まちなかの足跡 2008年3月～

人が集まり、歩いて楽しむ、
元気に暮らせる中心市街地

～生活充実都市・米子～の実現に向けて

の2、3年間で、にぎわいトライアングルを中心に、たくさんの事業、施設が産声を上げました。米子のまちなかを中心に、様々な施設が整備されたことは、大勢の民間事業者の熱意と行動力を行政や私達、中心市街地活性化協議会が寄り添い、支えて共に行動した結果と言えるでしょう。残された計画期間はあと3年。これからも、スピード感を持ちながら、多くの人たちが協力、連携し計画を進めることにより、「人が集まり、歩いて楽しむ、元気に暮らせる中心市街地～生活充実都市米子～」を実現し、米子市内にとどまることなく、近隣市町村の皆さんにも享受していただきたいと思います。

そして、これからの課題としては、今までにオープンした施設、完成した事業の安定化です。集客や売上げの向上、雇用の創出、まちなかの居住人口や交流人口の増加、周辺地域との連携、より一層のにぎわい創出など、いよいよ、これからの正念場です。

小規模連鎖型の 中心市街地活性化の進展(米子方式)

また、今後の目標は、「事業と計画のステージアップ」です。進行中の事業の安定化とともに、更に、新しい事業のステージアップを目指します。まちは、複合的な用途の組合せで初めて活気のにぎわいに通じると確信しています。そしてまた、まちを「後世に残せる資産」として積み上げていかねばなりません。

今後、道州制や地方分権が進むなかで、隣接する境港市や安来市、松江市、県西部、大山中海圏域、ひいては、海路や空路でつながる韓国、北東アジアをも視野に入れながら、少子高齢化社会への対応や持続可能なまちづくりの可能性、周辺地域との連携を見据え、大山中海圏域の交通の結節点であり、ゲートタウンとして、中心市街地の都市機能の充実、さらには「米子のまちこの圏域を元気にして行く取り組み」が求められます。



にぎわいトライアングルゾーンとは?
まちなかのさらにまちなかを「にぎわいトライアングルゾーン」と名付け、にぎわい拠点の創出と拠点のネットワークにより、にぎわいの周辺波及効果を誘発します。

STEP1 / 平成 21 年度

にぎわい拠点創出事業

～にぎわい拠点創出による周辺波及効果誘発～

- ① 今井書店本通り店 SKYビル開店
- ② 喜八プロジェクト DARAZ CREATE BOX開店
- ③ よりみち通り三連蔵 善五郎蔵開店
- ④ 法勝寺町商業環境整備事業(アーケード撤去完了)

STEP2 / 平成 22 年度

回遊軸延伸によるにぎわいトライアングルの構築

～商業・交流機能配置とまちなか居住導入を含む商店街エリア活性化及び商業環境整備による回遊軸の延伸とにぎわい創出～

- ① 法勝寺町商業環境整備事業 路面整備完了(七福神が暮らすまち)
- ② れんが通り活性化事業 れんが通りお絵かきプロジェクト実施
- ③ 笑い庵進化再生事業 よなごマルシェ開催へ発展
- ④ JR米子駅バリアフリー化事業一部完成

進行中の事業の深掘り支援・安定化と新事業による
にぎわいトライアングルの延伸・拡大へ

STEP3 / 平成 23 年度

にぎわいトライアングルの延伸・拡大

～まちなか居住機能導入と更なる賑わい拠点の創出によるにぎわいトライアングルの拡大～

- ① やらいや米子平ルネッサンス事業 シニアマンションこうやまち番号館開業
- ② 元町通り商業環境整備事業着手
- ③ 米子港再生プロジェクト進行
- ④ まちなかサテライトキャンパス事業進行

STEP4 / 平成 23 年度～

事業と計画のステージアップ

～既存の社会資本を十分に活用し、更なる機能の有機的連携によるステージアップと持続可能なまちづくりの展開～

- GAINAXプロジェクトとの連携
- よなごマルシェの事業化支援
- 図書館、美術館及び公会堂との連携
- NHK跡建物活用
- 紺屋町まちなか居住事業構想の推進
- 米子港再生プロジェクトとまちかど広場整備構想との連携
- 米子駅南地区との一体化への取り組み等々

まちなかの今後の課題と目標

にぎわいトライアングルの深掘り支援及び延伸・拡大

基本計画期間も残り3年をきり、米子市中心市街地活性化の取り組みの真価がさらに問われると共に、その目標点を明確にして行くことが求められています。

米子市中心市街地は中海圏域の交通結節点であり、“人が集まり、歩いて楽しむ、元気に暮らせる中心市街地”の実現のためには圏域住民のみならず年間1,000万人を超える周辺交流人口の誘引に組み込み、商業、福祉、まちなか居住

に止まらず、農水産業はもとより、文化、ポップカルチャー、健康・スポーツ、まちなか観光などあらゆる地域資源を活かした新たなビジネスチャンスづくりに繋げて行くことが必要です。本年度は“にぎわいトライアングル”の深掘り支援をおこなうと共に、南北軸（都市軸）及び東西軸（歴史・文化軸）に沿って“にぎわいトライアングル”延伸拡大に取り組み、米子市中心市街地の活性化を“魅力ある地域づくり”に繋げていきます。

① にぎわいトライアングルの深掘り支援

既存拠点事業の安定化と新たな拠点整備、そしてそれらの連携強化に加えて、図書館・美術館整備、鳥取大学医学部のサテライトキャンパス、中海テレビによるNHK跡建物活用、GAINAXによるポップカルチャーイベント、地産地消イベント：よなごマルシェ、まちづくり会社連携イベント等のあらゆる活性化事業との連携とその推進を図り、“にぎわいトライアングル”を商業、文化、まちなか居住・福祉が複合した、人々が必ず訪れてみたい、そしてそこで住みたい、働きたい、学びたいと思うような魅力あるエリアを目指した深掘り支援に取り組みます。

② にぎわいトライアングルの延伸・拡大

“人が集まり、歩いて楽しむ、元気に暮らせる中心市街地”の実現のためには、広域観光との連携を図りながら周辺交流人口を中心市街地に吸引することが必須の課題であり、吸引交通拠点となるJR米子駅、JR後藤駅、米子港を新たな拠点ゾーンとした“にぎわいトライアングル”の延伸拡大に取り組みます。この推進を目指し、公会堂改修、米子駅周辺整備の調査研究との連携を図ると共に、鳥取県による米子港再生検討委員会の検討を踏まえ、中心市街地から徒歩圏内であること、ウォーターフロントと大山の眺望、そして、境港～安来・松江間の交通結節点という条件を備え、中心市街地に新たな魅力導入の可能性を持つ米子港の再生活用検討に取り組みます。

③ 多様なまちづくり組織・人材との連携推進と新たな担い手の育成支援

エリアごとのまちづくり会社、NPO法人、よなごマルシェによる農水産事業者、GAINAXを通じたポップカルチャーに関わる人材等の多様なまちづくり組織・人材との連携体制づくりを進めるとともに、笑い庵インキュベーションスペース、法勝寺町チャレンジショップ（ちゃれんじ本舗）を通じた新たな担い手の育成支援に取り組みます。

米子市中心市街地活性化基本計画の基本的な方針及び目標

基本的な方針	01 ワクワクときどき心が躍るまちづくり	02 懐かしく心酔う情緒豊かなまちづくり	03 安心、便利でいきいきと暮らせるまちづくり
目標	人が集いにぎわいまちをつくる	歴史や文化、自然に触れ合えるまちをつくる	住みたくなるまちをつくる

